

障害者雇用好事例

医療法人社団 清幸会

(富山市下新北町6番52号)



企業概要

1. 従業員数：計 113人 (常用 109人、短時間・週20H~30H未満 4人)
障害者数 (常用) 種別：身体 1人 (0人)、知的 1人 (1人)、精神 0人
障害者数 (短時間) 種別：身体 0人 (0人)、知的 0人 (0人)、精神 0人 () 内は重度障害者数

2. 企業の概要及び事業内容

法人理念：『患者様、利用者様のひとりひとりが満足していただける医療と福祉の提供』

事業内容：島田病院 (富山市下新北町) 療養90床、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション
島田医院 (富山市永楽町) 内科・消化器内科、居宅介護事業所、地域包括支援センターを運営

障害者雇用に関する考え方

(雇用に至るきっかけ等)

- 採用するまでは、病院は危険が伴う仕事、かつ患者利用者の命がかかっているという思いから障害者雇用は避け、納付金さえ支払えば雇用はしなくていいと思っていた。しかし、採用した2名がこの法人を自ら選び、現場のスタッフは仕事を教え、注意されながらも愚痴もこぼさずに働いている姿には感服する。
- 今後は、収入の話もしながら自分の将来のために長く勤めるよう、教えていきたいと考えている。

障害者が従事する職種

- 身体障害のある職員は、病棟で介護福祉士として入院患者の身の回りのお世話やお食事の介助、入浴介助、排泄介助など、健常者と同じ勤務
- 知的障害のある職員は、通所リハビリテーションにおいて、介護補助として利用者のお出迎え、荷物運び、お茶やコーヒーの提供、ドライヤーがけ、デイケアルームの消毒など

障害者の雇用、職場定着に関して留意・工夫していること

- 知的障害のある職員は、指導時はできているがその後忘れてしまい同じミスをしてしまうなど、見守りは必要である。注意する時、本人は何を言ってもカッとならない性格だと分かっているが、柔らかく注意するようにしている。嫌だろうと思われる仕事をしてもらう場合は、誰かがしないといけない仕事だからお願いするね、とその仕事を任せる。どんな仕事であっても任せるということが自分にしかできない仕事を持っているという自覚と今後の自信につながると考える。

障害者本人の就労状況

- 身体障害のある職員は正職員、健常者と待遇は変わらない
- 知的障害のある職員はパート職員で週35時間勤務
- 勤務態度は二人とも大変良好。誰よりも早く出勤して準備をしていてとても助かっている。

